

■ 事後評価(社会資本総合整備計画)

市街地における安全・安心な通学路づくり  
(防災・安全)



社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

事後評価書

計画の名称	1 市街地における安全・安心な通学路づくり（防災・安全）																
計画の期間	平成29年度～令和2年度（4年間）					交付対象	香川県、観音寺市										
計画の目標	・歩行者空間及び自転車走行空間の確保や分離を行い、安全確保を図るとともに、都市景観の向上及び緊急輸送路等の防災機能の強化を図る。																
<p>1. 事業効果の発現状況 : 十分な効果があった</p> <p>事業の実施により、歩行者及び自転車が安全に通行できるようになる人数（台数）が2,636人（台）確保された。</p>																	
計画の成果目標（定量的指標）	歩行者空間及び自転車走行空間の分離などにより、安全に通行できるようになる人数（安全通行確保人数）																
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		達成率	備考					
									当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (R2末)						
安全通行確保人数 Σ〔(各路線を通行する歩行者及び自転車の人数/12h)×(各路線の対策：完了1、未完了0)〕	目標値：達成値：								0人	-人	2,573人 2,636人	102.4%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	4,070百万円	A	4,050百万円	B	百万円	C	20百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.49%	進捗率 (事業費ベース)	96%					
実施事業費	合計 (A+B+C)	3,899百万円	A	3,898百万円	B	百万円	C	1百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.02%							
交付対象事業																	
A 1 街路事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考	
									H29	H30	H31	R2					
A01-001	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 錦町国分寺綾南線	現道拡幅、無電柱化 L=0.40km	高松市					継続	1,070	167	16%	予算確保が十分でなかった
A01-002	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 中新町鬼無線	現道拡幅 L=0.49km	高松市					継続	290	170	59%	予算確保が十分でなかった
A01-003	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 中新町詰田川線	無電柱化 L=0.35km	高松市					補助事業等へ移行	180	211	117%	現在無電柱化補助事業で実施
A01-004	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 富士見町線	現道拡幅 L=0.58km	坂出市						880	970	110%	完了
A01-005	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 丸亀駅原田線(南条工区)	幅員再配分、無電柱化 L=0.28km	丸亀市					継続	210	338	161%	継続
A01-006	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 中央村黒線	現道拡幅 L=0.76km	観音寺市						840	947	113%	完了
A01-007	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 栄町七間橋線(栄町工区)	現道拡幅 L=0.13km	観音寺市					継続	200	768	384%	継続
A01-008	街路	一般	観音寺市	直接	-	(都) 中央七間橋線	現道拡幅 L=0.11km	観音寺市						360	307	85%	完了
A01-009	街路	一般	香川県	直接	-	(都) 福江松山線	現道拡幅 L=0.30km	坂出市					継続	20	20	100%	継続
													4,050	3,898	96%		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)				全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
										H29	H30	H31	R2				
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考			

C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
										H29	H30	H31	R2					
C01-001	街路	一般	香川県	直接	-	施設整備	(都) 中新町詰田川線	無電柱化(引込設備) N=1式	高松市						10	1	7%	現在無電柱化補助事業で実施
C01-002	街路	一般	香川県	直接	-	施設整備	(都) 富士見町線のポケットパーク	ポケットパーク N=2箇所	坂出市					10	0	0%	実施事業費は基幹事業にて計上	
合計													20	1	4%			
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		
C01-001	(都) 中新町詰田川線(A01-003)と一体的に無電柱化に付帯する引込設備の整備を行うことで、効率的な施工が可能となり早期の効果発現が期待できる。																	
C01-002	(都) 富士見町線(A01-004)と併せてポケットパークの整備を行うことにより、歩行者の滞留空間の確保や地域の防災機能の強化を図る。																	

その他関連する事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容・規模等	市町名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考
									H29	H30	H31	R2					

A'	百万円	B'		C'		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$
A'	百万円	B'		C'		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$

**要素事業の事業進捗**  
**概ね計画通り進捗**  
 ・一部、予算確保が十分でなかったため、進捗が遅れている事業もあるが、概ね計画通り進捗している。

**2. 今後の方針**  
**継続**  
 ・引き続き、街路の整備を行い歩行者及び自転車が安全に通行できる空間の確保に務める。  
 ・早期の効果発現のため、重点整備に努める。

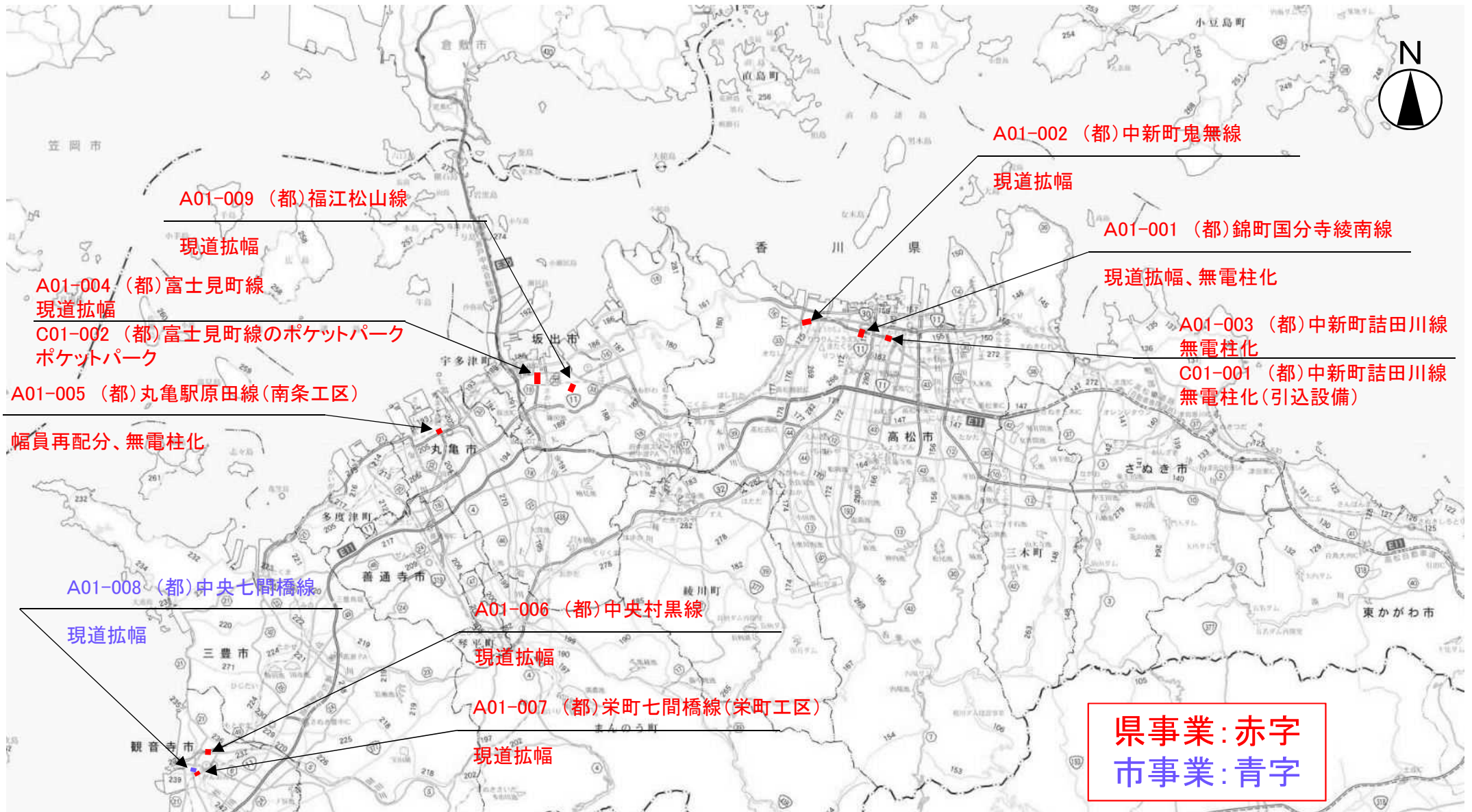
## 事後評価書参考資料

### ■ 事後評価(社会資本総合整備計画)

# 市街地における安全・安心な通学路づくり (防災・安全)

都市計画課

# 位置図



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図を使用し作成したものである。(平29四使 第1号)

# 事業概要

## ■ 現道拡幅



## ■ 幅員再配分・無電柱化



# 事業概要

要素事業名	今回整備内容		安全通行確保人数(12h/人(台))		路線対策状況・備考
			当初予定	達成状況	
(都)錦町国分寺綾南線	現道拡幅、無電柱化	0.40 km	継続	継続	継続
(都)中新町鬼無線	現道拡幅	0.49 km	560人(台)	継続	継続
(都)中新町詰田川線	無電柱化	0.35 km	継続	無電柱化補助へ移行	無電柱化補助へ移行
(都)富士見町線	現道拡幅	0.58 km	1,239人(台)	1,239人(台)	○ (R3対策完了見込)
(都)丸亀駅原田線(南条工区)	幅員再配分、無電柱化	0.28 km	継続	継続(単独)	継続(単独)
(都)中央村黒線	現道拡幅	0.76 km	774人(台)	774人(台)	○ (R3対策完了見込)
(都)栄町七間橋線 (栄町工区)	現道拡幅	0.13 km	継続	継続	継続
(都)中央七間橋線	現道拡幅	0.11 km	継続	623人(台)	○ (H31対策完了)
(都)福江松山線	現道拡幅	0.30 km	継続	継続	継続
合計(9路線)	-	3.40 km	3路線完了 2,573人(台)	3路線完了 2,636人(台)	

## 安全通行確保人数

$\Sigma\{(\text{各路線を通行する歩行者及び自転車の人(台)数}/12\text{h}) \times (\text{各路線の対策:完了}1、\text{未完了}0)\}$

目標達成率： $2,636/2,573=102\%$  となっている。



# 事業概要

## ■整備完了(R3完了予定)箇所の事例

### (都)富士見町線(坂出市)

本路線は、坂出市の中心市街地と坂出市南部を連絡する広域的南北幹線道路であり、坂出市中心地域の生活幹線道路としての機能も有ります。

しかし、現況は片道1車線しかなく、慢性的な交通渋滞が発生しています。また、坂出市の通学路に指定されているものの、歩道が一部しか設置されていませんでした。

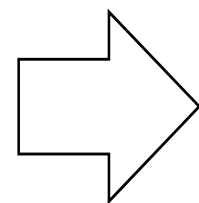
本事業の道路拡幅により、歩道と車道の整備が行われ、自転車や歩行者などの通行の安全が確保され、車道も上下合わせて4車線となることにより、市街地の交通混雑の解消につながり、広域的な物流の活発化に寄与しています。



電子地形図25000(国土地理院)を加工して作成



整備前



道路拡幅



整備後(一部車道工事中)